

令和8年 畑作病害虫発生情報 第7号

作物名：大豆（8月上旬）

1. ベと病（発生量：多い）
津軽、県南地域ともに広く発生が認められ、発生地点率、発病株率は平年より高かった。

べと病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査 地点数	発生程度別地点率（％）				発生地点率 （％）	発病株率 （％）
				甚	多	中	少		
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	0	100	100	89.7
		前年	12	0	0	0	83.3	83.3	65.3
		平年	14	0	0.6	7.1	61.3	69.0	17.4
	県南	本年	6	0	0	0	100	100	100
		前年	6	0	0	0	100	100	88.0
		平年	6	0	1.4	6.5	69.7	77.7	18.8

注）発生程度：甚 発病葉率76％以上、多 同51～75％、中 同26～50％、少 同25％以下

2. アブラムシ類（発生量：平年並）
津軽地域では発生が認められなかった。県南地域では発生地点率が平年より高かったが、寄生虫数は平年並み、発生種はワタアブラムシであった。

アブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査 地点数	発生程度別地点率（％）				発生地点率 （％）	寄生虫数 （頭/複葉）
				甚	多	中	少		
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	0	0	0	0
		前年	12	0	0	0	0	0	0
		平年	15	0	0	0	2.8	2.8	0.01
	県南	本年	6	0	0	0	16.7	16.7	0.02
		前年	6	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	2	3.3	7.3	12.3	0.13

注）調査基準：10株を抽出して各株中位1節の複葉に寄生するアブラムシ類を調査し、1複葉当たりの寄生虫数を算出

3. ウコンノメイガ（発生量：平年並）
津軽地域では発生地点率、葉巻数とも平年並であった。
県南地域では発生地点率が平年より高く、葉巻数は平年並であった。

ウコンノメイガ幼虫による葉巻症状の発生状況

調査時期	地域	年次	調査 地点数	発生程度別地点率（％）				発生地点率 （％）	葉巻数 （個/株）
				甚	多	中	少		
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	8.3	50.0	58.3	0.18
		前年	12	0	0	0	41.7	41.7	0.10
		平年	15	0	0	4.1	52.6	56.7	0.22
	県南	本年	6	0	0	0	100	100	0.19
		前年	6	0	0	0	83.3	83.3	0.23
		平年	6	0	0	1.7	66.1	67.8	0.16

注）調査基準：25株を抽出して各株の葉巻数を見取り調査し、被害株率及び1株当たりの葉巻数を算出

4. その他のチョウ目幼虫（発生量：少ない）
津軽、県南地域ともに、発生地点率は平年より低かった。

チョウ目幼虫による食害状況

調査時期	地域	年次	調査 地点数	発生程度別地点率（％）				発生地点率 （％）
				甚	多	中	少	
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	0.0	66.7	66.7
		前年	12	0	0	25	75	100
		平年	15	0.6	1.9	12.6	84.8	100
	県南	本年	6	0	0	0.0	66.7	67
		前年	6	0	0	17	83	100
		平年	6	0.0	1.4	10.5	86.4	98.3

注）発生程度：甚 1株の食害面積率51％以上、多 同26～50％、中 同11～25％、少 同10％以下

《当情報に関する問い合わせ先》
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当：横山